

川崎医療福祉大学

ボランティアセンターだより



INDEX

特集：学生スタッフの最近の活動

- 大学生災害ボランティア研修会／中庄クリーンアップ作戦…… 2. 3
- 美作大学「防災防犯フェスティバル」…… 4
- おにぎりアクション 2025 に参加して…… 4
- 花壇の花植えに参加して…… 5
- 盲導犬育成募金に参加して…… 6

ボランティアセンターの紹介

- 学生スタッフの活動／ボランティア情報を知るには…… 7

Vol.16

2026 年 4 月

大 学 生 災 害 ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 会

ボランティアセンター長 矢野 実郎

7月11日(金)に「大学生災害ボランティア研修会」を開催しました。「災害図上訓練(DIG)」をテーマに、日本赤十字社岡山県支部の講師3名を迎えて講演いただき、グループワークを行いました。災害図上訓練(Disaster Imagination Game(DIG:ディグ))とは、地図を使い、地域の災害リスクや避難経路などを参加者で話し合いながら可視化する防災訓練です。楽しみながら防災意識を高めることを目的としています。講演では大雨災害の事例や情報収集の方法などが丁寧に紹介され、グループワークでは大学周辺の地図に用水路や広場、危険箇所などを書き込み、災害時に役立つ施設にシールを貼りました。普段の生活では気づかない地域のリスクを知り、防災への意識を深める有意義な機会となりました。

中 庄 ク リ ー ン ア ッ プ 作 戦

臨床心理学科 1年 岸本 明日翔

中庄クリーンアップ作戦に参加しました。川崎医療福祉大学近辺の道を3つのグループに分かれてゴミ拾いをしました。ゴミ拾いをしていると感じたことは、想像していたよりもゴミが落ちていているということです。普段通っている道にも沢山ゴミが落ちていましたが、ゴミ拾いをしようと思わないと意外と気づかないものだの実感し、はっとさせられました。集まったゴミを見て、こんなにもゴミがあるのかと残念に思ったのと同時に、これだけ地域をきれいにできたのだと嬉しく感じることができました。また、このボランティアに参加したことで、きれいな地域を保っていくためには、一人一人の意識が大切だと感じました。そして、自分の生活の中でもできることから続けていきたいと思いました。



臨床心理学科 1年 櫻原 萌花

私は今回中庄クリーンアップ作戦に参加して、普段何気なく歩いている道でもごみがたくさん落ちていることに気付きました。特に、たばこや梱包用のビニールなどよく見ないと気が付かない大きさのごみが多いと感じました。何回か通っている道でも人に見つからないような場所や、グレーチングなどの取りにくい場所にあるごみでは、とても取りにくくて大変な作業という印象を受けました。しかし、活動を行っている中で、歩行者の方にあいさつをしてもらえたり、「ありがとう」と声をかけてもらったりした際にはとても嬉しく頑張ったよかったです。また、友人と一緒にすることで清掃活動が楽しくなり、あっという間に清掃活動が終わりました。「なぜそんなところに！」と思うくらい工夫されて捨てられたごみも見つけることができ、新たな発見になりました。

言語聴覚療法学科 1年 若原 和希

11月21日に行われたクリーンアップでは、3つのグループに分かれて歩道のごみを拾いました。私は大学から中庄駅まで歩きましたが、思っていたよりもごみが少なく、良い環境だと感じました。一方で、吸い殻が多かったため、定期的にゴミ拾いを行う必要があると思いました。実際に歩いてゴミを拾ったことで、どの場所にゴミが溜まりやすいのかを知ることができました。特に、歩道近くの小さな溝にはゴミが多く溜まっており、覗き込まないと見つけれないような拾いづらい場所でした。次回クリーンアップを行う際は、隅々までゴミを探そうと思いました。今回初めてクリーンアップに参加して、やりがいを感じることができたので、次回も参加したいと思いました。



美作大学「防災防犯フェスティバル」

保健看護学科 3年 山下 瑞菜都



今回、美作大学にて開催された県内 6 大学合同の「防災防犯フェスティバル」に、学生スタッフとして参加しました。会場には津山市周辺の子どもや保護者、地域の方々が多く来場され、私たち学生にとっても地域とつながる貴重な機会となりました。私たちが担当したブースでは、スタンプラリーのスタンプ押しや、日頃行っているボランティア活動の内容紹介を行いました。ブースに立ち寄ってくださった方々には、学生ボランティアとして普段どのような活動をしているのかを紹介しました。会場内には、寸劇や VR を用いた災害体験など、さまざまなブースが設けられており、参加された方々が楽しみながら防災について学ばれていました。今回の参加を通して、地域の方々と直接関わることで、防災や防犯について発信する側としての経験ができたこと、他大学の取り組みについて知る良い機会にもなりました。今後も、地域に少しでも貢献できるよう、ボランティア活動を継続していきたいです。

おにぎりアクション 2025 に参加して

医療福祉学科 3年 小野 七夢

今年度、私はボランティアセンターの一員として「おにぎりアクション」のリーダーを務めました。短い期間でしたが、メンバーが積極的におにぎりの写真を投稿してくれ、活動を盛り上げることができました。活動を通じて仲間と協力する喜びや、リーダーとしてまとめる難しさを学び、自分自身の成長にもつながったと感じています。来年度は、メンバーだけでなく他の学生にもこの活動を知ってもらえるように啓発活動を行い、学校全体で参加できる雰囲気を作りたいと考えています。ポスターや SNS を活用した広報、学部、学科単位での参加促進、学校イベントとの連携などを通じて、多くの人に「おにぎりアクション」の意義を伝え、より大きな輪を広げていきたいです。

おにぎりアクションとは・・・

おにぎりに関連する写真を SNS に投稿すると、企業を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに、写真 1 枚につき 5 食分の学校給食が届きます。



花壇の花植えに参加して



言語聴覚療法学科 1年 齋藤 成沙

プラザにある、花壇の花植えを行いました。今回は、大学の近くにあるお花屋さんでお花を選ぶところから活動を始めました。お店にはたくさんの種類の花が並んでおり、どの色でどんな花を選ぶか、学生スタッフ同士で相談しながら決めました。また、プランターに植える際には、配置や色のバランスを相談し、自分たちが納得のいく配置にすることができました。お花を選ぶところから、実際にプランターに植えるところまでとても楽しく活動することができました。今後も、私たちの植えたお花が長く綺麗に咲き続けられるよう、水やりや草取りなどの管理を学生スタッフで協力し楽しく育てていきたいと思います。

臨床心理学科 1年 櫻原 萌花

私は、お花屋さんで直接花を買いに行き、自身が選んだ花を植えました。お花を買う際に、色や花の種類が多くどれにしようか選ぶことがとても楽しかったです。また、友人と選んだということもあり話をしながら計算をしながら選ぶことができて脳トレにもつながりました。花植えの際には、購入した花の中からどの色の花をどのような配置で植えるのかを考えることが楽しかったです。友人たちと、「完璧すぎる!」「素晴らしい配置やな!」と互いに褒め合いながら植えることができたので自己肯定感も上がりました。花植えを終えた際には、何もなかった花壇に色が入り明るい雰囲気になっていて、自身が選んだ花がきれいに咲いているのを見てとても嬉しい気持ちになりました。



盲導犬育成募金に参加して

医療福祉学科 3年 柳井 夢月

昨年度に続き、今年も盲導犬育成募金に参加しました。参加は今回で三回目となりますが、実際に盲導犬ユーザーの方と直接お話しできる機会は多くありません。そのため、募金活動を通じて交流できる時間は非常に貴重であり、福祉を学ぶ学生として大きな学びとなりました。活動を重ねる中で、盲導犬の数が十分ではないこと、一頭がいつまでも働けるわけではないことを改めて感じました。こうした現状をどれほど多くの方が知っているのでしょうか。盲導犬は視覚障がいの方の生活を支える大切な存在です。だからこそ、私は募金活動を通じてより多くの方に盲導犬の役割や必要性を知っていただきたいと願っています。今後も活動を続け、理解を広げる一助になりたいです。



言語聴覚療法学科 1年 伊木 ひろ

初めて盲導犬募金に参加してみて、巡回しながら来客の方に募金をお願いすることは、想像していたよりも難しいと感じました。実際に巡回中に募金してくださった方の多くは、私の知り合いや顔見知りの方であり、初対面の方に声をかけることの難しさを改めて実感しました。一方で、ボランティアセンターのテントに設置されていた募金箱には、幅広い年齢層の方々が立ち寄り、多くの方が積極的に協力してくださいました。このことから、募金の方法や場所によって協力度に差が出ることを学びました。来年の盲導犬募金では、巡回の募金箱にもより多くの方に協力していただけるよう、声のかけ方や巡回の仕方を工夫するなど、募金の方法を改善して取り組みたいと感じました。

言語聴覚療法学科 1年 浅野 美羽

初めて盲導犬募金のボランティアに参加して、あたたかい気持ちになる場面がたくさんありましたが、その一方で大変さも強く実感しました。声をかけるタイミングをつかむのに緊張したり、人通りが少ない時間が続くと「うまく貢献できているのかな」と不安になったりもしました。募金くださる方ばかりではなく、興味がなさそうに通り過ぎる人もいて、自分の気持ちを切り替える難しさも学びました。それでも、立ち止まって募金をしてくださる方がいると本当に励まされて、支える気持ちはこうやって少しずつ繋がっていくのだと感じました。盲導犬を支援する活動が決して簡単ではないことを肌で感じられた今回の経験は、とても大切な学びになりました。これからも、自分にできる形で支えていきたいという思いが、よりいっそう強くなりました。

ボランティアセンターの紹介

ボランティアセンターでは、主に学生へのボランティアの紹介を行っており、ボランティアをしようと思った多くの学生が利用しています。また、ベルマーク、使用済みインクカートリッジの回収なども行っていますのでご協力をお願いします。学生もスタッフとしてその整理やその他様々な活動をしています。

ボランティアセンターの学生スタッフの活動

●シャッター押します隊

入学式、卒業式に記念写真の撮影のお手伝い

●インクカートリッジの回収（ベルマーク運動）

使用済みインクカートリッジの回収、メーカーごとに分別

●古切手、ベルマークの回収

回収した切手を「誕生日ありがとう運動本部」に送付

●花植え活動

●盲導犬育成募金



ボランティア情報を知るには・・・

パソコン・携帯からポータルサイトのボランティア情報をご覧ください。詳細は 7 階ボランティアセンターにも掲示しています。ボランティア活動の申し込みもボランティアセンターで受付をしています。

編集後記

今回も昨年と同様に「ボランティアセンターだより」を学生スタッフが作成しました。色々な方々にボランティアセンターの活動を知っていただけるようにと思いを入れて作り上げました。現在、嬉しいことに去年よりもスタッフの数が増えました！歓迎会やクリスマス会などを開催し去年よりも楽しく活動ができました。私事ですが、来年が最後になるため、去年よりさらにボランティアセンターを盛り上げて行けたらと考えています。来年も楽しく活動ができますように・・・

学生スタッフ 河原美樹

川崎医療福祉大学ボランティアセンター

■開所時間 : 月曜日～金曜日 9:00～16:00 (土日祝日は閉館)

■住所 : 〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

川崎医療福祉大学 北ウィング 7 階ボランティアセンター

■E-mail : volunteer-center@mw.kawasaki-m.ac.jp

■TEL(代表) : 086 - 462 - 1111 (内線 54725)

■TEL(直通) : 086 - 464 - 1543

■URL : <https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/volunteer/>

ホームページ
QR コード



Instagram



@KUMW_VOLUNTEER